

予算決算委員会都市経済分科会会議録

招 集

令和6年9月26日（木）午前10時 議会委員会室

出席委員（9名）

（分科会長）西 野 太 一 （副分科会長）吉 岡 古 都
門 脇 一 男 津 田 幸 一 中 田 利 幸 錦 織 陽 子
森 田 悟 史 森 谷 司 渡 辺 穰 爾

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

伊澤副市長

【経済部】若林部長

〔商工課〕坂隠次長兼課長 上場課長補佐兼商工振興担当課長補佐
森田ふるさと振興担当課長補佐 山口商工振興担当係長

【文化観光局】石田局長

〔観光課〕田仲課長 宮前観光戦略担当課長補佐
〔スポーツ振興課〕成田課長 松永課長補佐兼スポーツ振興担当課長補佐
久城スポーツ振興担当係長

【農林水産振興局】赤井局長兼農林課長

〔農林課〕山内課長補佐兼農政担当課長補佐 井田農林振興担当課長補佐
深吉土地改良担当課長補佐

【都市整備部】伊達部長

〔建設企画課〕遠崎課長 柳田課長補佐兼総務担当課長補佐
〔都市整備課〕本干尾課長 田居公園担当課長補佐
〔道路整備課〕山中次長兼課長 増井公園担当主任
〔建築相談課〕神門課長
〔住宅政策課〕西村課長 片山空き家・空き地対策室長
潮課長補佐兼市営住宅担当課長補佐

【下水道部】遠藤部長

〔下水道企画課〕横木課長 田中総務担当課長補佐
〔整備課〕北村課長 本池課長補佐兼管路整備担当課長補佐
伊藤管路維持担当課長補佐
〔施設課〕山崎課長 瀬尾課長補佐兼施設維持担当課長補佐
見山課長補佐兼施設工事担当課長補佐

出席した事務局職員

松田局長 田村次長 森井議事調査担当局長補佐

傍 聴 者

安達議員 稲田議員 岩崎議員 大下議員 岡田議員 奥岩議員 田村議員
戸田議員 又野議員 松田議員
報道関係者3人 一般1人

審査事件

議案第 90 号 令和 6 年度米子市一般会計補正予算（補正第 4 回）のうち当分科会所管部分

議案第 92 号 令和 6 年度米子市下水道事業会計補正予算（補正第 1 回）

~~~~~

### 午前 10 時 02 分 開会

**○西野分科会長** ただいまから予算決算委員会都市経済分科会を開会いたします。

本日は、11 日の本会議で予算決算委員会に付託された議案のうち、当分科会の審査担当とされました議案 2 件について審査をいたします。

経済部所管部分について審査をいたします。

議案第 90 号、令和 6 年度米子市一般会計補正予算（補正第 4 回）のうち、経済部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

山内農林課長補佐。

**○山内農林課長補佐兼農政担当課長補佐** 令和 6 年度一般会計補正予算のうち、本分科会に付託されました経済部所管の事業について、一括してポイントを絞って説明いたします。

まずは、歳出予算の事業の概要を御覧ください。

7 ページ上段、中心経営体農地集積促進事業でございます。これは、淀江地区で実施している圃場整備事業に係る地元負担金の増額分を補助するものでございます。

次に、同ページ下段、畜産経営緊急支援事業でございます。これは、飼料価格高騰により経営により影響を受けている事業者に対して、飼料代の一部を補助するものでございます。

次に、8 ページ上段、商工業振興資金貸付事業でございます。これは、エネルギー・原材料価格の高騰等により、制度融資の利用件数が当初の見込みより増加していることに伴い、預託額の増額分について予算を補正し、対応するものでございます。

次に、同ページ下段、米子がいな祭補助事業でございます。これは、第 51 回の米子がいな祭運営経費について、物価高騰の影響により想定を超えた経費の増加が見込まれることから、追加で経費の一部を支援するものでございます。

次に、9 ページ上段、米子城跡及び米子グルメを活用した誘客促進事業でございます。これは、米子市観光協会が A N A グループと連携し、ツアー造成及びプロモーションなどに取り組む事業が観光庁の補助事業、地域観光新発見事業に採択されたことから、本事業の実施に必要な資金の貸付け及び補助を行い、本市への誘客を図るものでございます。なお、本日は事業概要資料を別途配付しております。

次に、同ページ下段、J R と連携した観光誘客推進事業でございます。これは、大阪・関西万博に合わせ誘客推進を図るため、J R と連携した県内周遊ツアー企画運営費用の一部を負担するものでございます。なお、本日は事業概要資料を別途配付しております。

次に、12 ページ上段、新体育館整備事業でございます。これは、米子アリーナを大規模災害時における防災拠点として活用するに当たり、非常用発電設備及び防災備蓄倉庫を

整備するために、当該整備に向けた基本設計業務について予算を補正し、対応するものでございます。

最後に、同ページ下段、災害復旧事業（農地）でございます。これは、本年7月に発生した集中豪雨により崩壊した農地ののり面を復旧するための工事経費を予算化するものでございます。参考に、位置図を別添添付しております。

説明は以上でございます。

**○西野分科会長** 当局の説明が終わりました。

委員の皆様の質疑、御意見をお願いいたします。

森田委員。

**○森田委員** 何点か聞かせてください。

まず、7ページ下段の畜産経営緊急支援事業について、価格転嫁できていないので畜産農家に対して補助を出すということだったと思うんですけども、そこ、価格転嫁できていない要因っていうのは様々なパターンが想像されるんですが、具体的にどのような要因があったのか、分かる範囲でお答えいただければと思います。

**○西野分科会長** 赤井農林水産振興局長。

**○赤井農林水産振興局長兼農林課長** 価格転嫁につきましては、3回、順次行っておりますが、急激な価格転嫁を行えば消費が減速するということで、あまり急激な価格転嫁が行えないということで順次されておりますが、それに飼料代が追いついていないということでもあります。以上です。

**○西野分科会長** 森田委員。

**○森田委員** 分かりました。ありがとうございます。

では、続きまして、ページ変わります、9ページ上段の米子城跡及び米子グルメを活用した誘客促進事業というところで、観光庁のほうで採択していただいて、それに係る費用を計上していただいているというようなことだと思うんですけども、誰が販売されるのかっていうのを、まず伺っておきたいと思います。

**○西野分科会長** 田仲観光課長。

**○田仲観光課長** ツアーの販売につきましては、ANAグループのほうで実施をされます。以上です。

**○西野分科会長** 森田委員。

**○森田委員** ANAグループが実施されるというところで、平均単価とか年間の想定収益とかも、多分出されていると思うんですけども、そちらについて伺っておきたいのと、あとは観光協会のほうに、例えば販売でツアーが売れたときにどの程度の割合でお金が入ってくるのかということも、もしあれば伺っておきたいと思います。

**○西野分科会長** 田仲観光課長。

**○田仲観光課長** ツアーの平均単価でございますが、現在、約10万円というところで調整をしております。

あと、定員を40名としておりますので、今回につきましては、大体400万円ぐらいの収益、特に事業売上げとか見込んでおります。観光協会のほうには特にバックというのは、今回は予定はしておりません。以上です。

**○西野分科会長** 森田委員。

**○森田委員** 今回400万円というところで、継続して販売されるというようなところが要件に含まれてたような気がするんですけども、来年度以降も販売される予定があるのか伺っておきたいと思います。

**○西野分科会長** 田仲観光課長。

**○田仲観光課長** 今回、観光庁の事業、そういった要件だったと思いますので、それにつきましては、ANAグループとまた調整しながら考えてまいりたいと思っております。以上です。

**○西野分科会長** よろしいですか。

ほかにございませんか。

津田委員。

**○津田委員** まず、12ページの上段の新体育館の整備事業でありますけど、非常用発電機の設置及び防災倉庫の建築基本計画について発電機の台数とか、あと、大まかな発電供給範囲、それからあと、時間、騒音について、どのような対策を取っておられるのか伺いたいと思います。

**○西野分科会長** 成田スポーツ振興課長。

**○成田スポーツ振興課長** 非常用発電機の容量等につきましては、このたび予算お認めいただけましたら、基本設計のほうで詳細については検討していくことになりますけれども、現時点では、非常用発電機の容量としては1,500kVAを想定しておりまして、発電機の個数といたしましては2基を設置する予定にしております。

範囲なんですけれども、米子アリーナ、防災拠点として活用するに当たりまして、メインアリーナを物資の集積所として活用する予定にしております。サブアリーナ及び武道場を避難所として活用する予定にしております。ですので、そのスペースを中心にその他諸室合わせまして、72時間の範囲にわたりまして空調及び必要な電気を供給できるようなものとする想定にしております。

騒音についてですけれども、その辺りもこれから行う基本設計の中で、騒音が近隣に影響を及ぼさないような仕様が検討していきたいというふうに考えております。以上です。

**○西野分科会長** 津田委員。

**○津田委員** 素人なんで、発電容量というのが今言われたので72時間で、大体市内でどの範囲がとかっていうのがちょっとびんこないんですけども、かなりの発電容量だということは大体分かるような気がするんですけども、騒音に対しては今、恐らくですけども、昔の発電機だったらすごくうるさいと思うんですけど、最近の分は、結構発電の騒音っていうのも少ないんじゃないかなというふうに考えているんですけども、深夜帯とかそういう回す場合には、やっぱり騒音対策っていうのも本当に考えていただきたいというふうに要望させていただきたいと思います。

もう一つよろしいですか。

**○西野分科会長** はい。

**○津田委員** 12ページの下段の米子がいな祭の補助事業でございますけど、花火事業をはじめ想定を上回る経費増加ということでありますけれども、この花火は昨年より見て少なく感じましたけど、それで物価高騰というのもあるんですけど、これ昨年よりも打ち上げる花火自体が少なくて経費が上がったのか、それともドローンとかのそういう予算

とか、そういう費用とかも含まれてるのかっていうのをちょっと伺いたいと思います。

○西野分科会長 坂隠経済部次長。

○坂隠経済部次長兼商工課長 がいな祭の花火の経費のことについてのお尋ねでございます。昨年度は第50回の大会だったということございまして、特別記念大会ということで、別途この花火に対しての御支援等々が、多額の御支援等があったというところで、発数も1万発ということで、過去最大の発数を打ち上げたというところでございます。

今回、第51回につきましては、言い方としますと通常開催といった部分で約4,000発という形で打ち上げをしたところでございます。経費につきましては、先ほどおっしゃったドローンの関係のショーにつきましては、こちら中海テレビさんが開局35周年記念の事業ということでされておられますので、費用はそちらのほうで負担をしていると。今回、物価高騰で上がりました花火の予算といいますのは、純粹に今回の4,000発の花火の打ち上げに係る経費の部分というところでございます。以上です。

○西野分科会長 津田委員。

○津田委員 ということになると、前年度の記念行事よりも何発っていうのが1万発から4,000発になって、またさらに物価高騰で、その予算以上にかかったということですね。

○西野分科会長 坂隠経済部次長。

○坂隠経済部次長兼商工課長 すみません、ちょっと私の伝え方がまずかったかもしれませんですけども。昨年度の50回大会の花火の予算の部分と、今回の通常の開催の花火の当初予算の部分は、発数に応じてかなり落ちてきておりまして、具体的に言いますと今回は540万で見込んでおったところが、この物価高騰で610万円、70万円上がったというところと、それ以外の熱中症対策のテントのレンタル代であったりとか、あと仮設トイレのくみ取り代とかが物価高騰で値上がりになったというところで、トータルで100万円の追加支援を要求させていただいたというところでございます。以上です。

○西野分科会長 よろしいですか。

○津田委員 分かりました。

○西野分科会長 ほかにございませんか。

門脇委員。

○門脇委員 7ページの畜産経営緊急支援事業についてお伺いしたいと思います。まず、畜産農家さんにとっては、やっぱり飼料の高騰っていうのがやはり大きな問題だと思っております。それらを起因にして、経営も非常に厳しいものだということも伺っております。その中で、ここの内容のところでは2事業者50頭分とありますが、現在、米子市に畜産農家が2事業者だけなのか、あるいは何事業者かあって、その中のこの予算は2事業者なのか、これはどちらでしょうか。

○西野分科会長 赤井農林水産振興局長。

○赤井農林水産振興局長兼農林課長 米子市内の事業者さんは2事業者でございます。

○西野分科会長 門脇委員。

○門脇委員 分かりました。じゃあ、だんだんだんだん減ってきているなとはずっと思っただんですけども、2事業者だけだということは、非常に厳しい状況であるなと思っておりますし、また今のこの大変厳しい状況の中では、本当に全くなってしまうような状況になることも危惧しますので、何とか今後こういう対策のほうもしっかりと考えていた

だきたいと思います。よろしくお願いします。

もう一つ、よろしいですか。

**○西野分科会長** はい。

**○門脇委員** 9ページの米子城跡及び米子グルメを活用した誘客促進事業についてですけど、添付していただいております資料を見ますと、事業の目的で観光庁の補助事業に採択された米子市観光協会の実施事業でと、こういう記述がございまして、事業内容の中の（２）具体的な取組って書いてあるんですけども、この具体的な取組っていうところで、米子市の関わりってというのはどういうところがあるんでしょうか。

**○西野分科会長** 田仲観光課長。

**○田仲観光課長** 今回、米子市観光協会が事業実施主体にはなりますが、米子市も当然しっかりと関わりながら事業を進めてまいりたいと考えております。以上です。

**○西野分科会長** 門脇委員。

**○門脇委員** それで、（３）のスケジュールのところを見ますと、ツアーの実施が令和7年1月となっております、（２）のツアーの概要のところでも米子城跡への登城というのがございます。私、この冬のときいつも思うのは、今ダイヤモンド大山の観望会というのが秋と冬、2月ですね、冬は2月にありますけど、たしか2年前だったと思うんですけども、前日に雪が積もりまして、非常に、あっこれ、できないんじゃないかなと思ったんですけど、奇跡的に雪が解けてきまして、当日できた記憶があるんですけど、それは四季、春夏秋冬、どの時期にやってもメリット、デメリットがあると思うんですけど、例えば雪で登城ができなかったりする場合があると思うんですよね。ぜひ、せっかくお越しいたいて米子城跡に登れなかったとか、まれだと思うんですけど、そういう場合が起きたときでも代替案として何らかの形で、見ていただくっていうこともぜひ考えておいていただきたいと思います。なと思っておりますので、いかがでしょうか。

**○西野分科会長** 田仲観光課長。

**○田仲観光課長** 確かに1月ということで雪が降る可能性もありますけど、その辺は代替案を考えまして、米子城跡をしっかりとやるということを努めてまいりたいと思っております。以上です。

**○門脇委員** 以上で終わります。

**○西野分科会長** ほかにございませんか。

錦織委員。

**○錦織委員** 8ページの商工業振興資金貸付事業について、少しお尋ねします。経営安定のためのということで資金を調達するんですけども、この制度融資、預託額の増額分ということで、2億円といったら結構大きな金額だというふうに思いますが、増加する件数とかいうのは、大体どのくらいを想定しておられるんでしょうか。

**○西野分科会長** 坂隠経済部次長。

**○坂隠経済部次長兼商工課長** 増加の件数ということでございますけれども、今回この融資全体の予算が、融資の種類とか、あと、その条件とかの内容によってちょっと異なりますので、件数ベースではなくて、全体の額の貸付の傾向等を見てこのぐらゐの金額が必要になるということで、要求をさせていただいたところでございます。以上です。

**○西野分科会長** 錦織委員。

○**錦織委員** 額としては、総額としてのことだとは思いますが、大体どのくらいの業者の方がこの制度融資っていうか、これの資金を借りておられるかっていうのは、ちょっと分かれば教えていただきたいんですけど。

○**西野分科会長** 坂隠経済部次長。

○**坂隠経済部次長兼商工課長** そうしますと、8月末時点での件数になるんですけども、令和5年度事象のエネルギー・原材料価格高騰、こちらの融資が189件、それから、令和6年度と同じくエネルギー・原材料価格高騰の融資が24件でございます。それから、令和6年度に為替相場の急激な変動に係る融資がございまして、こちらが9件、それから、コロナ克服借換特別資金、こちらが8件、こういった実績になっております。以上です。

○**西野分科会長** 錦織委員。

○**錦織委員** 分かりました。それでは、次、9ページの下の方、JRと連携した観光誘客の事業なんですけど、ミステリーツアーということでやられるということですが、周遊ということで、鳥取県内のほかの駅、倉吉とか、そういったところもあると思うんですけど、それぞれの自治体の負担額について、分かれば教えていただきたいんですけど。

○**西野分科会長** 田仲観光課長。

○**田仲観光課長** 負担金につきましては基準がございまして、チェックポイント、必ず立ち寄る場所1か所につき400万円、あと、お楽しみポイント、立ち寄ることでノベルティーなどをもらえる場所、これ100万円ということで明確な基準があります。本市としましては、チェックポイント1か所、お楽しみポイント1か所ということで、500万の負担となるということです。

○**西野分科会長** 錦織委員。

○**錦織委員** そうしますと、チェックポイントがほかの自治体で複数あるっていうところはあると思うんですけど、例えばここは3ポイントあって、こうですとかということが、もし分かればですけど、どうでしょうか。

○**西野分科会長** 田仲観光課長。

○**田仲観光課長** 他の自治体につきましては、まだ現在、調整中と伺っておりますので、そこまで詳細は把握しておりません。以上です。

○**西野分科会長** 錦織委員。

○**錦織委員** 分かりました。

○**西野分科会長** 森谷委員。

○**森谷委員** 同じく9ページの下段で、ちょっと先ほどの質問と関係するんですけども、このチェックポイント5か所を設置しとか、あと、本市においてはチェックポイント、お楽しみポイントを1か所ずつ設置というふうになってますけども、具体的にもう場所は決まっているのかどうかって、まずお聞きしたいと思います。

○**西野分科会長** 田仲観光課長。

○**田仲観光課長** 具体的な場所につきましては、現在調整中でございますけども、皆生温泉エリアに1か所、米子城跡・城下町エリアに1か所というところで、今、想定をしております。以上です。

○**西野分科会長** 森谷委員。

○**森谷委員** 私としては淀江の駅を中心として、あそこ、一つの文化遺産もあると思いま

すので、できたらそこも付け加えていただけたらと思うんですけど、これは要望ですけど、検討をお願いいたします。以上です。

○西野分科会長 ほかにございませんか。

吉岡委員。

○吉岡委員 まず、9ページ上段の米子城跡及び米子グルメを活用した誘客促進事業について伺います。まず、この事業で来られた方が宿泊する場所というのは、どこを想定されてますでしょうか。

○西野分科会長 田仲観光課長。

○田仲観光課長 米子城跡周辺を周遊するということで、現在、駅前周辺で想定をしています。以上です。

○西野分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 あと、中ほどのちょっと下のところに(2)の具体的な取組、インフルエンサーによる知識の深堀とありますが、こういった方を想定をされてますでしょうか。

○西野分科会長 田仲観光課長。

○田仲観光課長 今回、2名の方を想定しておりまして、まず、お城に対して知識の詳しい専門家の方、それとあと、ラーメンに関して詳しい知識をお持ちの方、こういった方2名を想定しております。以上です。

○西野分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 以前に市長が、観光について人手不足もあるので、単価の高い誘客をしたいというようなコメントを議会でされたように記憶していますが、その方向性とこの事業っていうのは何か微妙にマッチしてないように感じるんですが、その辺り御見解を伺いたいです。

○西野分科会長 田仲観光課長。

○田仲観光課長 先ほど森田委員さんのときに答弁さしあげましたけども、ツアー単価約10万円ということで、これは1泊2日のツアーにしてはかなり高単価なものかなと思っています。それと、加えまして今回いわゆる先ほど紹介しましたお城のインフルエンサーの方ですとか、あと、ラーメンの方にツアーに同行いただきまして、いろいろ知識など伝達していただくことで参加者の満足度を高めるとともに、ツアーの価値というのを高めてまいりたいと、そのようなところは考えているところでございます。以上です。

○西野分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 ツアー総額で10万円が高いかどうかというのはちょっと微妙かなと思っていて、境港市にもラグジュアリーな宿泊施設ができるということを伺っていますが、どちらかというと、そういうお客さんが来られるのは皆生周辺かなと思いますので、そちらのほうにも注力をしていただけたらなと要望をしておきます。

あと、もう一点、続けていいですか。

○西野分科会長 はい。

○吉岡委員 12ページ下段の災害復旧事業(農地)のところですが、これに対しまして、今かなり地方債の割合が大きくなっているところですが、内容のところの※のところ、災害査定の結果に応じ県補助率が増加する可能性があると思いますが、現時点でその可能性について伺います。

○西野分科会長 赤井農林水産振興局長。

○赤井農林水産振興局長兼農林課長 補助額についてでございますが、本件につきまして  
は激甚災害のほうに認定をされましたので、まだ補助率は確定しておりませんが、かなり  
高い補助率で決定が来るかと思えます。以上です。

○西野分科会長 よろしいですか。

○吉岡委員 はい。

○西野分科会長 ほかにございませんか。

〔「なし」と声あり〕

○西野分科会長 ないようですので、以上で経済部所管の審査を終わります。

予算決算委員会都市経済分科会を暫時休憩いたします。

午前 10 時 28 分 休憩

午前 11 時 25 分 再開

○西野分科会長 予算決算委員会都市経済分科会を再開いたします。

下水道部所管について審査をいたします。

議案第 92 号、令和 6 年度米子市下水道事業会計補正予算（補正第 1 回）を議題といた  
します。

当局の説明を求めます。

横木下水道企画課長。

○横木下水道企画課長 それでは、議案第 92 号説明資料を御覧ください。1 ページを御  
覧ください。令和 6 年度米子市下水道事業会計補正予算（補正第 1 回）についてござい  
ます。補正理由でございます。2 件ございます。

1 つ目は、自己託送による電気料金削減相当額の一般会計への繰り出しに伴う補正。こ  
ちらは、クリーンセンターにおいて再生エネルギーにより発電した電力のうち、余剰電力  
の一部を下水道の内浜処理場及び皆生処理場に自己託送により供給しております。それ  
により生じた当該施設に係る電気料金の削減相当額を一般会計に繰り出すための補正でござ  
います。

2 つ目、公金振込手数料の改正に伴う補正でございます。こちらは、公金振込手数料の  
改定により、振込手数料の増額、それに伴う消費税及び地方消費税還付金の増額を行うも  
のでございます。

1 ページ目中ほどの表を御覧ください。予算規模でございます。表の補正額という欄を  
御覧ください。収益的収入 9,000 円の増、収益的支出 3,903 万円の増といたしてお  
ります。2 ページ目を御覧ください。予算総括表を載せております。

2 ページ目の下半分、2、収益的支出という表を御覧ください。科目の欄、1、営業費  
用、3、処理場費という欄がございます。補正予定額という欄を見ていただきますと、一  
般会計へ繰り出す負担金の額が載っております。3 行下がりにして、6、総係費の行を御  
覧ください。補正予定額の欄、こちらに振込手数料の増を載せております。2 ページ目  
の上半分の表を御覧ください。1、収益的収入という表でございます。科目の欄、2、営業  
外収益、5、消費税及び地方消費税還付金の補正予定額の欄に消費税及び地方消費税還付  
金の増額を載せております。2 ページ目の一番下の行を御覧ください。結果といたしまし  
て、純利益税込みで 1 億 548 万 6,000 円でございます。税抜きでは 8,876 万 7,  
000 円の純損失でございます。この損失につきましては、前年度までの繰越利益剰余金

をもって補填することといたしております。説明は以上です。

**○西野分科会長** 当局の説明が終わりました。

委員の皆様の質疑、御意見をお願いいたします。

〔「なし」と声あり〕

**○西野分科会長** ないようですので、以上で下水道部所管の審査を終わります。

予算決算委員会都市経済分科会を暫時休憩いたします。

**午前 11 時 29 分 休憩**

**午前 11 時 36 分 再開**

**○西野分科会長** 予算決算委員会都市経済分科会を再開いたします。

都市整備部所管について審査をいたします。

議案第 90 号、令和 6 年度米子市一般会計補正予算（補正第 4 回）のうち、都市整備部所管部分を議題といたします。

当局の説明を求めます。

遠崎建設企画課長。

**○遠崎建設企画課長** 議案第 90 号、令和 6 年度米子市一般会計補正予算（補正第 4 回）のうち、都市整備部所管部分の事業について御説明いたします。画面では議案予算書等の 17、9 月補正予算歳出予算の事業の概要の 10 ページでございます。説明は歳出予算の事業の概要により説明させていただきます。

10 ページ上段、空家等対策事業として補正額 817 万 3,000 円、下段、特定空家等除却補助金として補正額 480 万円を計上しております。空家等対策事業につきましては、デジタル田園都市国家構想交付金に採択されたことから、予算を増額補正対応するものでございます。内容としましては、空き家、空き地の管理システムを導入しまして、情報の可視化及び折衝記録等の一元管理を行おうとするものでございます。下段、特定空家等除却補助金につきましては、国の補助金の配分に応じて事業の進捗を図るため、予算を増額補正して対応するものでございます。内容としましては、著しく管理が不全な特定空家等を対象として、所有者等が自ら建物を除却する場合に、除却費用の一部を補助するものでございます。

次に、債務負担行為でございますが、画面では議案予算書等の 5 番、補正予算書（一般会計・介護特会）の 23 ページになります。説明は、令和 6 年度補正予算書により説明させていただきます。鳥取県西部総合事務所新棟・米子市役所糺町庁舎整備等事業としまして、令和 7 年度から令和 14 年度までの期間で、限度額 63 万 1,000 円を計上しております。これは、糺町庁舎の維持管理経費について、物価スライドによる増額分の債務負担行為を設定するものでございます。内容としましては、本事業の維持管理経費については、毎年あらかじめ定められた物価指標を用いまして毎年度 1 回の定期観測を行い、前回、これは令和 5 年度になりますが、そのときの改定時から 3 ポイント以上の変動があった場合に見直しを行うこととしておりまして、改定が行われた場合は翌年度の 4 月 1 日以降の維持管理経費に反映することとしております。したがって、今年度指標比較を行った結果、前回の観測から物価等の高騰等に伴いまして、3 ポイント以上の変動がありまして、維持管理費の改定を行おうとしたものでございます。改定は翌年度 4 月 1 日以降の維持管理経費に反映させることとしているため、令和 7 年度から令和 14 年度までの事業計画に

おける維持管理経費の増額分の債務負担行為の変更を行うものでございます。説明は以上でございます。

○西野分科会長 当局の説明が終わりました。

委員の皆様の質疑、御意見をお願いいたします。

森田委員。

○森田委員 事業概要書の10ページ上段、空家等対策事業について質問をさせていただきます。事業の概要のところで、管理不全な空き家についてというところを書いてありまして、そういった管理不全空き家の情報を一元管理するというような趣旨かと思っております。適切な管理に向けた管理をしやすくなるみたいな趣旨でよいのかというところを、まず確認させていただきたいと思います。

○西野分科会長 片山住宅政策課空き家・空き地対策室長。

○片山住宅政策課空き家・空き地対策室長 このシステムで管理する空き家についてですけども、空き家の実態調査で判明した空き家についても、併せて管理をする予定にしております。以上です。

○西野分科会長 森田委員。

○森田委員 実態調査で把握された空き家についてデジタルで管理することで、業務改善というか業務の効率化に資するというようなところかなということなので、管理不全空き家以外も空き家についてはデータベースで管理されるというようなことだったかと思っております。そういったデータっていうのは、民間の不動産会社さんとかっていうところも希望があれば見れるのかということも伺っておきたいと思います。

○西野分科会長 片山住宅政策課空き家・空き地対策室長。

○片山住宅政策課空き家・空き地対策室長 本システムで管理するデータにつきましては、民間事業者への提供は基本的には考えておりません。以上です。

○西野分科会長 森田委員。

○森田委員 個人情報ということもあるので、管理難しいというところもあって、そういった判断かと思うんですけども、これが導入されたから空き家対策が進むということではなく、民間事業者との連携っていうのも非常に重要になってくると思いますので、そこも併せて取り組んでいただきますよう要望をしておきたいと思います。以上です。

○西野分科会長 ほかにございませんか。

吉岡委員。

○吉岡委員 ちょっと先ほどの森田委員の質問でまだ分からないところを質問させてください。ちょっと分かりにくかったのが、今ある、今どのような課題があって、それがこれを導入することによってどのように解決するかというところを説明していただけますでしょうか。

○西野分科会長 片山住宅政策課空き家・空き地対策室長。

○片山住宅政策課空き家・空き地対策室長 空き家につきましては、これまでは個々に空き家の情報を管理しておりまして、一つの物件に対して例えばエクセルデータであったりワードのデータであったり、そのほかにも写真データ、紙データというふうに、様々な形で管理をしていたところですけども、このシステム導入によって一元化管理をしまして、例えば管理ができていない空き家についても、効果的に所有者のほうに働きかけができる

ようになるといふふうに考えております。以上です。

○西野分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 今までほぼ手作業っていうことで、これから効率的になるといいなと思います。

あと、この管理システム導入・構築委託ということで729万3,000円計上されていますが、このシステムというのはこれから一から構築するものなんですか。

○西野分科会長 片山住宅政策課空き家・空き地対策室長。

○片山住宅政策課空き家・空き地対策室長 この空き家の管理システムにつきましては、今年度公募型のプロポーザルにおいて業者を選定する予定にしております。既に空き家の管理システムがある事業者さんいらっしゃいますので、そういう事業者さんを対象に実施する予定にしております。

○西野分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 システム使用料は1年分毎年かかるものですか。

○西野分科会長 片山住宅政策課空き家・空き地対策室長。

○片山住宅政策課空き家・空き地対策室長 このたび補正予算で計上させていただいているものにつきましては、システムの構築費になります。これとは別に毎年ランニングコストとして年間70万から120万程度を想定をしているところです。

○西野分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 あと、その下のノートパソコン等備品購入とありますが、これはどんな場面で使うことを想定しておられるものですか。

○西野分科会長 片山住宅政策課空き家・空き地対策室長。

○片山住宅政策課空き家・空き地対策室長 このノートパソコンにつきましては、事務室のほうでこのシステムを使う用にパソコンが必要ということで、用意するものでございます。

○西野分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 まだその業者さんがこれから公募型プロポーザルでということですけど、どんなシステムが入ってくるか分からない段階でこのノートパソコンが必要という理由は何でしょうか。

○西野分科会長 片山住宅政策課空き家・空き地対策室長。

○片山住宅政策課空き家・空き地対策室長 事前に既に空き家の管理システムを構築している事業者に対して聞き取りを行っております。そこでパソコンが必要ということで用意をするものでございます。

○西野分科会長 吉岡委員。

○吉岡委員 米子市内の空き家を管理するというシステムということですので、できれば現地で使えるような端末を取り扱えるようなシステムを優先して採用されたらいいかなというふうに思いますので、提案をしておきます。以上です。

○西野分科会長 ほかにございますか。

〔「なし」と声あり〕

○西野分科会長 ないようですので、以上で都市整備部所管の審査を終わります。

予算決算委員会都市経済分科会を暫時休憩いたします。

**午前 11時47分 休憩**

**午後 0時01分 再開**

**○西野分科会長** 予算決算委員会都市経済分科会を再開いたします。

9月30日の予算決算委員会における予算分科会報告の意見の取りまとめを行います。  
報告に入れる意見につきまして、委員の皆様の御意見を求めます。御意見ありますか。

〔「なし」と声あり〕

**○西野分科会長** それでは、特になかった旨、報告させていただきます。

以上で予算決算委員会都市経済分科会を閉会いたします。

**午後 0時02分 閉会**

米子市議会委員会条例第29条第1項の規定により署名する。

予算決算委員会都市経済分科会長      西 野 太 一